



代読 石坂市民生活部長

令和五年度 熊本市子ども会育成協議会総会

市長挨拶

令和五年度 熊本市子ども会育成協議会総会の開催にあたりまして、一言、ご挨拶を申し上げます。

まずもって、本日表彰を受けられる皆様方に、心からお祝いを申し上げますとともに、地域で子どもたちを支援してこられたご功績に對しまして、深く敬意を表する次第です。

また、山本会長をはじめ、役員の皆様、会員の皆様方におかれましては、日頃から子ども会活動に献身的なご尽力をいただいておりますことに、心から敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

さて、近年、猛威を振るいました新型コロナウイルス感染症が五類に移行し、以前のよう

な生活を取り戻しつつある一方で、少子高齢化や家族形態の変容、価値観やライフスタイルの多様化などを背景とした地域社会等の変化や支え合いの希薄化など、社会環境は著しく変化してきております。子どもたちを取り巻く環境につきましても、いじめや非行、インターネットを通じたトラブルなど多くの課題を抱えております。

このような中、貴協議会において取り組まれている、野外活動体験や子ども会ジュニア・リーダー研修会の開催などの様々な活動が、子どもたちの「生きぬく力」を育み、次代を担う子どもたちを守り、育てる上で、今後ますます重要なものになるものと存じます。

本市では、子どもを核としたまちづくりを進めるために「こども局」を新設し、子育て世帯への支援を充実していく中で、子どもと地域の交流の場になる「子ども食堂」の支援や、いじめや不登校に悩む子どもへの相談を受けつける「こどもホットライン」の開設など、子どもを見守る環境を整えてまいります。

皆様方におかれましても、子どもたちの自

主的な活動への支援に加え、子どもを見守る大人への支援や、子どもたちが安心していきいきと過ごせる環境づくりの地域の良き支援者として、今後もお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、熊本市子ども会育成協議会の今後益々のご発展と、本日お集まりの皆様のご健勝とご活躍をご祈念申し上げます。ご挨拶といたします。

令和五年六月十一日

熊本市長 大西 一史